

かがやいて

高等部だより
第7号 2020.9.29
富岡特別支援学校高等部
Tel.0274-75-1071 Fax0274-63-8386

－成長が感じられた就業体験－

9月7日(月)～18日(金)に、2学期の就業体験が行われました。今回、1年生は校内実習、2・3年生は現場実習に行きました。1年生は靴下やタオルの受注作業、マット編み、ボルト組み等を行いました。作業の内容は難しくなりましたが、報告や連絡が1学期のときよりもしっかりできるようになり、成長が感じられました。話を聞く姿勢からも、働く意欲が感じられました。

2年生は、初めて現場実習に出る生徒もいましたが、どの生徒も最後までやり遂げることができました。有意義な経験ができたと思います。現場実習の最終日には、評価会という振り返りの会が設けられます。評価会で出された課題は、たいへん貴重な意見になります。学校とご家庭で共有し、今後に生かしていければと思います。3年生については、卒業後の生活を見据えた現場実習でした。校外での活動にも慣れ、安定した働きぶりでした。慣れても、気を緩めず、今後も緊張感をもって働けるといいと思います。



校内実習の会場は、上級生と下級生が協力して作りました。



靴下とタオルの受注作業は、実際の販売品になるものなので、正確に丁寧に取り組みました。



現場実習では、学校で学んだことを発揮することができました。一生懸命、働くことができました。



就業体験報告会。就業体験で学んだことを発表しました。

10月の予定

5日	月	身体計測
9日	金	有権者(選挙)学習会
12日	月	集金袋配付
15日	木	生徒会立会演説会 (午後金曜授業)
16日	金	(午後木曜授業)
20日	火	高等部生徒募集説明会
21日	水	高2女子貧血検査
23日	金	生徒会本部役員選挙
28日	水	群馬県民の日
30日	金	高1、2校外学習 高3日帰り修学旅行

困っていることを伝えること

就業体験の当日の朝、ある生徒から学校に電話がかかってきました。「就業体験先に向かっているが、自転車のチェーンが外れてしまい、遅刻しそうだ。就業体験先に電話をしてもつながらない。どうしたらよいか」という内容でした。その生徒は焦っていたと思いますが、自分で考えて、学校に電話をかけることができました。

伝える方法は生徒によって違いますが、困っているときに、助けを求められるようになることは、とても大切なことです。将来の自立に向けて、身に付けさせたいことです。

その後、電話をかけてきた生徒は、就業体験先の人に会うことができ、遅刻することなく、無事行くことができました。

本校では、学校生活全体を通じて挨拶や返事はもちろんのこと、自分の思いを相手に伝えられるようになることにも指導の重点を置いています。伝える方法は生徒によって異なりますが、困っていることが伝われば、ご家庭でもご指導ください。

実際の困った場面で、

就業体験の当日の朝、ある生徒から学校に電話がかかってきました。「就業体験先に向かってるが、自転車のチェーンが外れてしまい、遅刻しそう。就業体験先に電話してもつながらない。どうしたらよいか」という内容でした。その生徒は焦っていたと思いますが、自分で考えて、学校に電話をかけることができました。

伝える方法は生徒によって異なりますが、困っているときに、助けを求められるようになることは、とても大切なことです。将来の自立に向けて、身に付けさせたいことです。

その後、電話をかけてきた生徒は、就業体験先の人に会うことができ、遅刻することなく、無事行くことができました。

困ったら相談する